

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」  
「組合員への助成活動レポート」

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	ソーマダーナ
支援対象者・エリア	福島市大笹生
企画開催地	あべき倶楽部、道の駅ふくしま
企画名称	福島慰問インド舞踊企画―農作物販売会&交流会
実施期間	2022年7月16日、17日、18日

## 支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

東日本大震災の前から福島にご縁がありました。自分に出来ることで支援活動したいという思いから震災の翌年から福島を訪問し踊りを披露してきました。震災直後は踊りよりも食料や衣料の支援が必要とされましたが、福島は状況は異例でした。放射能汚染の問題から、東京では福島ナンバーの車は嫌厭され嫌がらせを受けるほどでしたので、福島を訪れてくれたというだけで大変歓迎されました。行くことに意義があり、踊りが披露できて、さらに喜んでもらえたら儲けものという気持ちで続けてきました。支援活動は、行う側も受け入れ側も多大な労力が必要で、ニーズが合わないと意味がありません。相手の要望を理解し話し合う事で信頼・感謝が生まれます。これは東京での生活では経験できない繋がりですので、大変貴重な体験をさせて頂いております。1日目は昨年続き福島市大笹生“あべき倶楽部”を拠点とし、被災者、震災当時支援活動に従事された方々、風評被害を払拭し活動する若手農業家さんなどを招いて舞踊鑑賞会&カレーパーティーを開催しました。“あべき”の洋梨を使用したワインの販売会も行われ、手作りカレーと共に楽しい時間を過ごしました。2日目はオープンしたばかりの“道の駅ふくしま”でパフォーマンス三昧の一日を過ごしました。館内を自由に使用してよいと許可を頂きましたので、桃の最盛期のため沢山のお客が来店する中、入口付近のホワイエ、フードコート、子供の遊び場から、屋外、屋内の通路まで、全ての場所を使用し、私達の力が尽きるまでパフォーマンスを行いました。すでに大盛況の“道の駅ふくしま”でしたが、益々の発展を願って精一杯踊らせて頂きました。今回も実り多き福島訪問となりました。交流会に参加して下さった日本舞踊“伝統文化未来協会”花柳沙里樹先生と生徒さんが、インド舞踊に感銘してくださり、次回は子供達に観せたいと言って下さいました。文化交流は私も最も望む事ですので、今後の目標にしたいと思っております。今回も実り多き福島訪問となりました。ありがとうございました。

あべき邸にてインド舞踊鑑賞会&交流会



道の駅ふくしまにてパフォーマンス

